

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 麻生鳥のさえずり公園

第 16 号 2007 年 3 月 25 日発行 発行 ; 麻生多摩美の森の会
発行責任者 ; 勝田 政吾 編集者 ; 木村 信夫

三つのフォーラムの報告

副会長 平林 謙三

春先に当年度の活動報告を兼ね、色々なフォーラムが開かれます。当会は今年も三つのフォーラムに参加しました。いずれも川崎市の阿部市長が出席され、盛会でした。

2007 市民健康の森フォーラム in 多摩

2月17日(土) 多摩区役所

主催 : 市民健康の森交流会

川崎市7区の市民健康の森会員が一堂に会し、展示・発表を行い、相互の親睦と交流を行っています。今年は多摩区が当番で、多摩区役所11階の会議室で開催されました。

当会からは間野洋さんが会の現況を発表しました。他区については多摩区の小学生、中学生の元気な発表が特に印象的でした。

最後に隣接する食堂で交流会を行い、親睦を深めることが出来ました。

第5回市民自治創造・

かわさきフォーラム

3月3日(土) 川崎市教育文化会館

主催 フォーラム実行委員会・川崎市総合企画局自治政策部

毎年各区持ち回りで行われ、今年は川崎区の番でした。実行委員は公募で選ばれ、市民健康の森交流会からも交代で2名が委員になり、今年は私が委員を務めました。

今年のテーマは「あなたが動く、地域が変わる」。開会のアトラクションと挨拶のあと、日本 NPO センター理事の田尻住史さんの「市民活動が元気になる協働のあり方」と題する基調講演がありました。続いて4つの分科会で市民活動のあり方について

様々な角度から討論が行われました。また元気メッセでは、各種の企画発表、パネル展示が行われ、当会も展示を行いました。

また、2月17日(土)に、エクスカージョンとして旧東海道めぐりと川崎臨海部めぐりの2コースを歩きました。

里山フォーラム in 麻生

3月17日(土) 麻生市民館大会議室

主催 : 里山フォーラム in 麻生世話人会

和光大学の堂前雅史助教授に「自然と生活の両立に向けて / 岡上地域における和光大学の取り組み」と題する講演をお願いしました。その後、黒川・早野・古沢・恩田の谷戸(横浜市)の発表、パネルディスカッション、交流会と続きました。今年は川崎市以外の方々も参加していただき、様々な角度からの話題提供があり、有意義な交流ができたと思います。

また今回初めて行った写真展は、何気ない一こま一こまが普段気がつかない麻生区の表情を写しており、好評でした。最多投票を獲得した写真が、手作業の田植えであったのも麻生らしい結果でした。



里山フォーラム in 麻生。展示ブースを見て回られる阿部市長

西生田小学校5年生「森で環境学習」がおこなわれる

副会長 長澤

麻生区市民健康の森において、西生田小学校5年生170名の「森で環境を学ぶ」総合的な学習が12月中旬2日間にわたり行われ、「麻生多摩美の森の会」と「多摩美みどりの会」がその支援を行いました。

環境をテーマとし、森の大切さとボランティア活動の意味、冬の森観察、カブト虫のお宿作り、樹木の二酸化炭素吸着量測定など体験学習を行いました。

実施日と学習指導員

実施日時；12月18日(月) 19日(火)

2日間 各午前中の2時間

学習指導員；各日 10名

麻生多摩美の森の会(健康の森)会員、
と多摩美みどりの会の会員有志の方々。

「環境」学習の内容

はじめに、勝田会長より「西生田小学校の近くにこんなにすばらしい森があります。今日は、環境をテーマに実習をまじえて森の大切さを野外学習で体験してください」と挨拶があり、森の学習に入りました。

＜緑の大切さと、多摩美の森の保全活動＞

平林さんより以下のような話がありました。

この森周辺に25年前に開発計画が持ち上がったが、地域の人たちによる森を残そうという運動が実り、今は川崎市麻生区市民健康の森となっている。

森の役目の1つには、鳥や虫や小動物のすみか、緑による人々の安らぎの場として、2つには、人や動物が吐き出す二酸化炭素を吸着し、光合成を行い酸素と水を放出する効果がある。地球の二酸化炭素増加による温暖化防止など、環境保全に大変貢献している。

木を切りすぎ滅びた国や衰退した国は過去にたくさんある。樹木の成長は、大変長いので何百年も先の森を見据えた育成管理が必要である。

＜冬の森の写生と、カブト虫のお宿作り＞

森はいつも緑豊かだと思われていますが、冬の森を観察することで、気付いてもらうのがねらいでした。約20分間、落ち葉や冬芽、木の落葉した姿など冬の森の息づかいを写生しました。

後の20分、森で落ち葉かきを行い、あらかじめ作った竹枠の中に落ち葉を入れ、米ぬかと水を入れ踏み固めてカブト虫のお宿を作りました。



＜樹木の二酸化炭素吸着を観測しよう＞

観察シート、メジャー、電卓を準備し、班別行動(8~10人/班)で3本の木の幹周りを測定しシートに記入、別表より「葉総面積値」を算出しました。

計算式「二酸化炭素 = 葉総面積 × 吸着指数」によって樹木が吸着する二酸化炭素量を算出、それが年間で何人分に相当するかを計算しました。

結果発表を行い、6班18本で約70人分の二酸化炭素を吸着、樹木が環境改善に大きく貢献している事に驚きました。

平成 17 年 3 月、臨時幹事会にて「麻生区市民健康の森推進計画」の見直しが議論され、管理棟建設のお願いを北部公園事務所に提出することが決定されました。

以来、管理棟設置委員会を立ち上げ、何回かの検討の後、平成 17 年 9 月、北部公園事務所に正式に建設のお願い書を提出しました。

平成 18 年 3 月の川崎市議会にて予算要求が可決され、同 4 月 20 日、北部公園事務所、伊藤所長より管理棟建設の予算措置が付いた旨を正式に伺いました。その後、公園事務所と数回の打ち合わせを行い、管理棟の設計の概要が次のように決定しました。

- 1) 管理棟：2 間×4 間
(管理室：2 間×3 間、倉庫：2 間×1 間)
- 2) トイレ：循環式トイレを設置。
- 3) 進入路：遊歩道よりの進入路は 5m に
拡幅、緩傾斜に改修。
- 4) 現在設置している 2 棟の倉庫は撤去。

平成 19 年 2 月 13 日、進入路の改修から工事中。3 月 16 日現在、工事は順調に進捗し、完成は 3 月末の予定。現段階では、多摩美の森の会会則の改定、管理棟の利用規定の案を検討しています。なお、北部公園事務所からの管理委託手続は、4 月 21 日の第 5 回通常総会後となるでしょう。会員の皆さん、管理棟の完成が楽しみです。(写真：完成が近い管理棟)



竹炭焼き、木琴への挑戦記 中谷 一郎

今年はさらに炭の品質を上げること、アイデア豊富な編集長からの提案による竹炭琴の製作にも挑戦することとなった。そのため、次の 3 点を改善項目とした。

- ・ 積雪期を避け 3 月に実施した。
- ・ 煙突出口位置を一基の窯は下、一基は上とし、どちらが良いか比較する。
- ・ 竹炭琴が灰にならぬように、窯の中心部に竹筒 10 本ほどをセットした。

準備は 2 月 4 日(日)の竹の運搬と切断(約 30 本)に始まり、延べ 5 回をかけて竹の切りそろえ、ドラム缶・煙突の点検、設置等を行なった。

3 月 10 日(土)本番、9 時集合、風も無く快晴、横引き煙突の固定に時間がかかったが、立派な煙突ができた。11 時 30 分と例年より遅く、勝田会長の火入れ式で炭焼き開始。

以後、藤棚下のテーブルで食事しながら飲みながら、この森のあり方から社会問題、各会員の経験談など熱く語りあい、順番で火の監視と薪くべ、18 時 30 分に火止め、密封土盛り、跡かたづけした頃には、辺りは真っ暗。

翌 11 日(日)は朝から雨で窯出しは中止し、14 日(水)10 時集合で実施した。結果は煙突出口が下部の窯は見事に竹炭琴も竹炭も全て灰(ただし竹酢液は豊富)。もう一基はまあまあの出来。原因は窯の炊き入れ口、窯本体の密封土盛り不足、特に煙突部密封に不備があったと思われ、大いに反省。一同の落胆は大きかったが、再挑戦への決意を新たにした。



わたしの部屋

英国旅行と駐車違反の顛末 伊丹伸行

昨年6月、女房と初めて英国を訪ねた。ロンドンの見物以外は運賃の安い外国人向けの鉄道パスを使い、ロンドンから4時間半をかけ、中世の城塞都市エジンバラへ行ったが、車窓からの眺めはなだらかな地形に石を積んだ柵の中で、のんびり草を食む羊や牛の風景の連続だった。帰路の途中、湖水地方に立ち寄った。低い丘の中に細長い湖が点在し、自然保護に気が配られた水と緑の美しい所で、ゆったりとした時間が流れている保養地だ。

* * * * *

広い田園にはちみつ色の古い家並みが散在するコッツウオルズ地方の移動にはレンタカーが便利と言うので、オックスフォードで車を借りた。チップングカムデンで、中世の市場脇の駐車場に入れて自販機に50ペンスを払った。このとき看板に「駐車券をDISPLAYせよ」とあったが、券をポケットに入れて見物に出た。

戻ってみると、駐車違反の紙がワイパーに挟まっているのではないかと。「券を買っていないか、券を示していない」とある。罰金は£85約2万円、14日以内に払えば£40とあり、カード払いの用紙も付いていた。観光案内所で対処法を訪ねると、看板にある番号に電話しろと言うが、英語に弱いからそれは止め、翌日車を返す時、主に代理で電話して貰ったが、生憎の土曜日で休み。そこで駐車券と罰金の紙を渡し、月曜に改めて掛けてくれと頼むと、説得出来ぬ時はカードから落とすがよいかと言うので、OKした。それから半年、説得成功のようでは引落しの連絡はない。

こんなことで、コッツウオルズは忘れられぬ土地となった。(写真:チップングカムデン、右の建物が中世の市場跡。その奥に町の駐車場)



今後の活動予定 副会長 平林謙三

今年の冬は異常な暖冬でした。これから順調に春が来てくれると良いですね。

これからの活動日と作業予定は、正式には4月21日(土)の第5回通常総会の議決を経て決まることですが、一応次のように考えております。

原則は毎月第一土曜日と第三日曜日、当日が雨の場合は1週間後となります。

また、第二、第四水曜日を補助作業日とし、必要に応じて作業を行います。

作業時間は10月1日から6月30日までは原則として10時~12時、7月1日から9月30日迄は原則として9時~11時までです。

- 4月7日(土) 草刈り、苗木・畑の手入れ
- 4月15日(日) 草刈り、さといも畑の畝立
- 4月21日(土) 15:00~

麻生区多摩美の森の会通常総会

(区役所4階第3会議室)

- 5月5日(土) さといもの植付け、豆蒔き
- 5月20日(日) 麦刈り
- 6月2日(土) さつまいもの植付け
- 6月17日(日) 草刈り、苗木・畑の手入れ
- 7月7日(土) 草刈り、苗木・畑の手入れ
- 7月15日(日) 草刈り、苗木・畑の手入れ

なお補助作業日は

- 4月11日、25日、5月9日、23日、6月13日、27日、7月11日、25日となります。



業や自然体験も楽しい。どなたでも加入できます。年会費1000円。体験参加も歓迎。上記の活動日において下さい。

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

問合せ、連絡先

平林謙三 044-954-4861

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com